

棚田オーナー制度や直売所運営 による地域振興

景観保全機能

一般財団法人 あすかむら 明日香村 地域振興公社



農業振興を推進していくため、行政の意向をふまえて農家への直接指導を行う機関の必要性が高まり、その仲介役としての公社を設立した。

棚田オーナーなどの8つのオーナー制度、3ヶ所の直売所及び農村レストランの運営、農産加工グループの起業支援、景観整備活動の支援及び県や村が実施するイベント等へ参画している。



あすかむら
奈良県明日香村



ヒガンバナと棚田

〔景観の保全〕

農業振興を推進していくため、8つのオーナー制度を運営している。これらの制度を利用する都市住民の協力を得て、明日香の歴史的景観とともに農村景観が保全されている。

〔体験学習と教育、保健休養〕

各種のオーナー制度において農作業等の体験や、しめ縄作りを楽しむことができる。

また、平成10年から田んぼの風景の象徴である「かかし」を一般から公募、かかしロードに展示することで、明日香の棚田景観の保護に寄与している。

〔地域社会の振興〕

「明日香の夢市」等の直売所や、地元野菜を使った郷土料理が楽しめる農家レストランの運営及び農産加工グループの起業支援。また、地元住民との協働・交流を基本として景観保全活動に取り組むグループへのボランティア募集等の支援活動を実施。



棚田オーナーによる稲刈り



「かかしロード」を歩く



棚田で行われる
「かかしコンテスト」



一本木オーナー「柿」



直売所「明日香の夢市」
農家レストラン「夢市茶屋」



飛鳥時代に唐の僧侶が伝えたと
いわれる牛乳を使った「飛鳥鍋」
(夢市茶屋で提供)



直売所「あすか夢の楽市」で
販売される明日香村産の野菜